

## スーパー耐久シリーズ 2009 第3戦

スーパー耐久・鈴鹿500km 6/6 予選 SAT. ・ 7 決勝 SUN.

鈴鹿サーキット 国際レーシングコース 1周 5.807km

- 大会名称：スーパー耐久シリーズ 2009 第3戦 スーパー耐久・鈴鹿500km
- 同日開催：2009 フォーミュラ Enjoy 第2戦(土曜日決勝)  
2009 NISSAN MARCH WEST Japan Series 第2戦  
Lotus Cup Japan Series 2-イレブン・カップ 2009 第2戦  
Lotus Cup Japan Series エリーゼS・カップ 2009 第2戦
- 主催：名古屋レーシングクラブ(NRC) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド

## 新生鈴鹿ラウンドは2ディ開催。

## 横一線のレギュラーチームに有力地元チームが挑戦するのか！？

## 原点回帰の大接戦バトルが始まる！



スーパー耐久シリーズ第3戦は、鈴鹿サーキットが舞台。ツインリンクもてぎ、スポーツランドSUGOでの戦いを経て、マシンの仕上がりはかなり進んでいるはず。必然的にレースは接戦となり、見応えのあるものになるのは必至。そしてまた、昨年9月からこれまでにない規模の大改修工事が行われ、生まれ変わった新しい鈴鹿サーキットの下で開催されるのだ。

コースレイアウトに変化はないものの、一部にランオフエリアの拡大がはかられ、なにより路面が新しく舗装されている部分もあり、これまでのデータがそのまま通用するとは言えなくなった。

当然ここで問われるのはチームの適応力と、ドライバーの柔軟性ということになるわけだ。

これらに対して、本来スーパー耐久は今年からスケジュールを短縮し、日曜日のうちに予選と決勝レースを行うこととしているが、例外として鈴鹿サーキットでは、従来どおり予選を土曜日(6月6日)に、決勝レースを日曜日(6月7日)に行う。それまでの2戦とは異なり、練習走行にも十分時間が充てられるため、入念にセッティングを進めていく様子も、観戦ポイントのひとつになるだろう。

もうひとつ今年の注目はスポット参戦のチームが増える予想されていること。シリーズ全戦に参戦するのではなく、それぞれのコースを本拠地とするチームが、レギュラーのチームに胸を借りる、いやむしろ隅々まで知り尽くしたコースに全精力を傾けることで、大どんでん返しがあるかもしれない。

特にモータースポーツの聖地と呼ばれる鈴鹿サーキットだけに、周辺には有力レーシングチームが多数存在しており、期待は膨らむばかりだ。まさにその様子はN1耐久と呼ばれたシリーズ黎明期に多く見られた光景で、さながら原点回帰のようでもある。他では見られない、鈴鹿サーキットならではの、ハイレベルな接戦が展開されそうだ。

## 改造範囲は狭くともマシンの進化は止まらない。

スーパー耐久では、市販のエアロパーツが装着できるため、上品にルックスアップできる一方で、その中身に大幅な変更は許されていない。せいぜいパーツの交換が許される程度。エンジンもオーバーホール範囲内でファインチューンが許されるぐらいで、限りなくノーマルと言っている。それでも同じ車種ながら戦闘力に差がつくのはドライバーの力量、チームごと施される綿密なセッティング、さらに戦術の妙があるからだ。ある意味で余裕はなく、ギリギリのところまで戦いを繰り広げているから、時に限界を超え、一瞬でレース展開が変化する。それが「筋書きのないドラマ」を地で行くと言われる理由でもある。

また、クラスは排気量や駆動方式の違いによって、4つに分けられているので車種のバラエティに富んでいるのも特徴である。それぞれのクラスで実力伯仲の戦いが繰り広げられているが、車両ごと個性が異なっているので、コンディションが変化すれば有利・不利も入れ替わってしまうのが、戦いの予想をより困難にしているのだ。

## ST-1クラスは再びBMW Z4MクーペとフェアレディZが大接戦の予感

3501cc以上の車両によって争われるST-1クラスは、昨年2台のBMW Z4Mクーペがシリーズを席巻し、フェアレディZの連覇どころか優勝さえ許さなかった。しかし、その圧倒的な強さゆえ最低重量の見直しがはかれることとなり、両車の差は70kgに。もちろん、重くなったのはZ4Mクーペで、持ち前のフットワークが損なわれてしまう可能性もある。

対して、フェアレディZは武器とする絶対的な信頼性で巻き返しを図るはず。それぞれにドライバーラインアップの変化があることも、激戦を予感させる要素だ。まずZ4Mクーペを走らせるPETRONAS SYNTIUM TEAMは、チーム



PETRONAS SYNTIUM TEAMの  
BMW Z4Mクーペ(2008年の走行シーン)



フェアレディZ  
(2008年に参戦したマシン)

内シャッフルを行うことに。6人の顔触れは変わらないものの、谷口信輝／柳田真孝／ファリーク・ハイルマン組、そして片岡龍也／吉田広樹／ジョハン・アズミ組で新たな戦いに挑む。

一方、フェアレディZ勢は田中哲也率いるTEAM TETSUYAが自身の新たなパートナーとして横溝直輝と佐藤公哉を起用し、戦力を増強。また、昨年のST-3チャンピオンである前嶋秀司と佐々木雅弘がクラスを移行し、2階級制覇を狙うのも大きな話題。Z4Mクーペ対フェアレディZ、2陣営の激突はこれまでにない激しいものとなりそうだ。

## ランエボXの進化で新旧ランエボ対決に拍車がかかるST-2

## ST-3クラスに超豪華トリオのNSX参戦! ST-4クラスはシビックの逆襲に注目!

2001~3500ccの四輪駆動車によって争われるST-2クラスは、ランサーエボリューションXの大躍進が期待できそうだ。昨年、鳴り物入りでデビューしたものの、ニューマシンならではのトラブルに見舞われることも多かった。逆に安定感が光りチャンピオンとなったのは同じランサーでも旧型のエボリューションIX。高い熟成度もさることながら、100kg近くエボXより軽いことが、絶対的なマージンとなったのである。



ST-2クラス  
ランサーエボリューションX

しかし、今年はエボXに対して、フロント以外のウィンドウの材質、運転席以外のドアの材質を、それぞれ変更することが認められた結果、約40kgの軽量化に成功。またエボXには電子制御デバイスという、絶対的な武器がもとより存在している。タイヤに優しく、それでいて旋回速度も高めているのだ。新旧ランエボが互角の戦いをくり広げるのは必然だ。



ST-2クラス  
ランサーエボリューションIX



ST-3クラス、チーム5ZIGENのNSXで参戦する超豪華トリオ  
左から平中克幸、松浦孝亮、吉本大樹

同じ2001~3500ccの二輪駆動車で争われるST-3クラスは、フェアレディZとホンダNSX、そしてマツダRX-7と、それぞれ個性的な車両が争い合うことで人気がある。このクラスで話題を集めているのが、チーム5ZIGENがNSXでスーパー耐久に復帰し、大暴れを宣言していることだ。なにしろドライバーがすごい。平中克幸と松浦孝亮、そして吉本大樹なのだ! いずれも海外で活躍した実績と、国内トップのフォーミュラ・ニッポンに参戦した経歴がある。NSXも一時期のスピードを取り戻しただけに、シリーズの台風の目となるのは間違いないだろう。

2000cc以下の車両によって争われるST-4クラスは、インテグラとシビック、同じタイプRを名乗るホンダ車の対決が今まで以上に盛り上がりそう。デビューイヤーの07年にタイトルを獲得したシビックだったが、昨年は劣勢を強いられインテグラがタイトル奪還。だが今年にはランサーエボX同様、シビックの大幅な軽量化が可能になった。またこのクラスは冒頭で触れたスポット参戦が最も多く、まさに予想不可能な混戦模様。最後に笑うのは、ミスなくレースを戦うことができたチームということになりそうだ。

## 4月7日(火)チケット販売開始!

[価格はすべて税込]

**ご案内:** ・大人のお客様は、ゆうえんちモトピアパスポートで、本レースをご観戦いただけます。  
・中・高校生のお客様は、ゆうえんち入園料のみで、本レースをご観戦いただけます。

### ■前売観戦券(2日通し券)

大人	ペア(大人2名)	中・高校生
ゆうえんちモトピアパスポート付		入場のみ
3,800円	7,000円	1,600円

### ■前売エリア付観戦券(2日通し券)

V2・V1エリア付観戦券 (エリア席は決勝日のみ有効)
ゆうえんちモトピアパスポート付
6,000円

### ■前売指定席券(決勝日のみ有効) ※別途観戦券が必要です

V2・V1エリア
2,500円

### ■当日観戦券

	大人	中・高校生
6月6日(土)予選日	ゆうえんち入園料(1,600円)	
6月7日(日)決勝日	4,200円	1,600円

### ■当日エリア券(決勝日のみ有効) ※別途観戦券が必要です

V2・V1エリア
3,000円

※3歳～高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。中・高校生:1,600円/小学生:800円/3歳～未就学児:600円

※高校生以下の方はV2・V1エリアへ無料でご入場いただけます。

※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。

※指定席券は決勝日のみ有効です。

※ペアチケットは前売のみの発売で、2名セットとなります。

※V2・V1エリア付観戦券は前売のみの発売となります。

※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は販売致しません。お早めにお求めください。

## ■パドックパス(2日通し券) ※別途観戦券が必要です

大人(中学生以上)	子ども(3歳~小学生)
6,000円	無料

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※パドックパスをご購入いただいたお客様は激感エリアへのご入場、ピットウォークもお楽しみいただけます。

※前売りパドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

※ホスピタリティラウンジ、ホスピタリティテラスへはご入場いただけません。

## ■ピットウォーク券 ※別途観戦券が必要です

**今年よりピットウォーク券はMOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)にて前売販売いたします**

	大人(中学生以上)	子ども(3歳~小学生)
6月6日(土) 予選日	1,600円	無料
6月7日(日) 決勝日	1,600円	

※ピットウォーク券のご購入には観戦券が別途必要です。

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト※PC・モバイルサイト)からお申込みください。

受付期間: 4月7日(火) 10:00~5月31日(日) 24:00まで

※前売ピットウォーク券は完売する場合があります。お早めにご購入ください。

前売ピットウォーク券が完売の場合は、当日ピットウォーク券の販売はございません。

※ピットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。

## ■グリッドウォークパス(スーパー耐久クラススタート進行時のみ有効) ※別途パドックに入場できるパスが必要です。

大人(中学生以上)	子ども(3歳~小学生)
3,000円	無料

※開催当日現地にて発売となります。前売り販売はございません。

※販売枚数は400枚限定(土曜日販売200枚・日曜日販売200枚)各日ともゲートオープンより先着順にて販売いたします。

※グリッドウォーク時、マシンにお手を触れることはご遠慮ください。

※グリッドへのご入場は6月7日(日)スーパー耐久クラス決勝レーススタート進行時のみ(約15分程度)となります。

※小学生以下のお子様は保護者の同伴が必要です。

※グリッド上への脚立の持込はご遠慮下さい。

※グリッドウォークパスの購入はパドックに入場できるパス(ホスピタリティラウンジ・ホスピタリティテラス・パドックパス・ゲストパスなど)をお持ちの方のみとなります。

魅力いっぱいのファミリー向けチケットはコレ!!

## ファミ得チケット

### ■前売観戦券 ファミ得チケット V2・V1エリアセット (2日通し券・エリア席は決勝日のみ有効)

大人2名+ 子ども1名(3歳~高校生)	大人2名+ 子ども2名(3歳~高校生)
ゆうえんちモトピアパスポート付	
13,000円	15,800円

※セットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。

### MOBILITY STATIONだけの 特別キャンペーン!

MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)でファミ得チケットを買くと、コチラレーシングのぬいぐるみが手に入る!



その他にも抽選でビジョン応援メッセージやグリッドキッズにも参加できるよ!



## パドック、ホスピタリティラウンジにも入れる最高級の観戦環境を提供 VIPスイート・プレミアム

グランドスタンド上部に位置し、東コースの大部分を見渡すことができるVIPスイート。新施設のオープンに伴い、VIPスイート・プレミアムはVIPスイート、VIPテラス、パドックをはじめ、新ピットビルディングのホスピタリティテラス(3階)、にもご入場いただけるようになりました。



※イラストは新ピットビルのイメージです

VIPスイート・プレミアム ＜大人(中学生以上)＞ (2日間有効・観戦券込み)	VIPスイート・プレミアム ＜子ども(3歳～小学生)＞ (2日間有効・観戦券込み)
<b>27,000円</b>	<b>13,500円</b>

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)からお申込みください。

受付期間:4月7日(火)10:00～5月31日(日)24:00まで

※3歳以上有料となります。

(飲料・食事など特典内容は大人同様となります)

※駐車券は1名様～4名様までのお申込1件につき1台分となります。

※ホスピタリティラウンジ(新ピットビル2階)にはご入場いただけません。

※VIPスイート・プレミアムは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申込後のキャンセルは一切できません。

※VIPテラスの販売はいたしておりません。VIPテラスはVIPスイートのお客様、車いす観戦指定席のお客様のご利用エリアとなりました。

### 【VIPスイート・プレミアム特典】

- スペシャルランチボックス(決勝日6/7(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券(専用駐車エリア)
- 大会公式プログラム
- ピットウォーク(2日間対象)
- VIPテラス入場可(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象)
- グリッドウォーク(6月7日(日)スーパー耐久決勝レーススタート進行時(約15分間)のみとなります。)
- ホスピタリティテラス入場可(2日間対象)
- 記念品

## HOSPITALITY LOUNGE

## 新ピットビルディング2階に新設されたワンランク上の観戦空間 ホスピタリティラウンジ



※イラストはイメージです

新ピットビルディング2階に設けられたホスピタリティラウンジはハイクレードな観戦ルームに加えて、ピットレーンに張り出した屋外テラス席を設置。鈴鹿サーキットはおもてなしの心とともに、快適で迫りに満ちた観戦をご提供いたします。

ホスピタリティラウンジ ＜大人向け＞ (2日間有効・観戦券込み)	ファミリーラウンジ ＜大人(中学生以上)＞ (2日間有効・観戦券込み)	ファミリーラウンジ Jr ＜子ども(3歳～小学生)＞ (2日間有効・観戦券込み)
<b>24,000円</b>	<b>24,000円</b>	<b>6,000円</b>

### 【ホスピタリティラウンジ特典】

- 駐車券(専用駐車エリア)※ファミリーラウンジ Jrには付きません
- パドック入場可(2日間対象)
- ピットウォーク(2日間対象)
- スペシャルランチボックス(決勝日6/7(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 大会公式プログラム※ファミリーラウンジ Jrには付きません
- V2・V1指定エリア入場
- 激感エリア入場
- 専用プラスチックパス※ファミリーラウンジ Jrには付きません

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)からお申込みください。

受付期間:4月7日(火)10:00～5月31日(日)24:00まで

※駐車券は1名様～4名様までのお申込1件につき1台分となります。(ファミリーラウンジ Jrには付きません)

※ホスピタリティラウンジは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申込後のキャンセルは一切できません。

※屋外席は自由席となります。

※ファミリーラウンジはご家族でご観戦いただける共有ラウンジです。

## HOSPITALITY TERRACE

### 新ピットビルディング3階からの眺望と生の迫力を体感できる空間 ホスピタリティテラス

新ピットビルディング3階からご観戦いただけるホスピタリティテラスは、自然光を活かし、開放的な空間とするために壁を設置せずに、コースが見渡せる場所となります。2階席のホスピタリティラウンジ同様にテラス席をご用意しております。

#### ホスピタリティテラスは別途観戦券が必要です

ホスピタリティテラス (2日間有効・別途観戦券必要) <大人(中学生以上)>	ホスピタリティテラスJr (2日間有効・別途観戦券必要) <子ども(3歳~小学生)>
<b>8,000円</b>	<b>2,000円</b>

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)からお申込みください。  
 受付期間: 4月7日(火)10:00~5月31日(日)24:00まで  
 ※ホスピタリティテラスのご購入には観戦券が別途必要です。  
 ※3歳以上有料となります。(特典内容は大人同様となります)  
 ※ホスピタリティテラスは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。  
 ※お申し込み後のキャンセルは一切できません。



※イラストはイメージです

#### 【ホスピタリティテラステ典】

- ピットウォーク(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象)
- V2・V1指定エリア入場
- 激感エリア入場
- 専用プラスチックパス  
※Jrには付きません

## パノラマルーム&V席、シーズンシートを好評販売中!(4月12日締切り)

シーズンシートは1レースずつ使用できるチケット制。レースが大好きというお客様はもちろん、取引先様の接待や従業員様の福利厚生、各種会員特典、販売促進などにもご利用いただけます。

※パノラマルームは新グランドスタンドV席上部に位置する見晴らしのいいプライベート空間です。

パノラマルーム	V席シーズンシート
パノラマルーム利用1室4名まで/観戦券込 ワンドリンク付(4名×8レース) 駐車券付(各レース1台)	V指定席最上段2名セット/観戦券込 ワンドリンク付(2名×8レース) 駐車券付(各レース1台)
<b>475,000円</b>	<b>120,000円</b>

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト※PC・モバイルサイト)からお申込みください。受付期間: 4月12日(日)24:00まで

#### 【対象レース】

- ケーヒン 鈴鹿2&4レース オープニングスペシャル[4/18(土)・19(日)]
- フォーミュラ・ニッポン 第2戦鈴鹿サーキット[5/16(土)・17(日)]
- スーパー耐久・鈴鹿500km[6/6(土)・7(日)]
- 鈴鹿300km耐久ロードレース[6/13(土)・14(日)]
- フォーミュラ・ニッポン 第5戦鈴鹿サーキット[7/11(土)・12(日)]
- “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第32回大会[7/23(木)~26(日)]
- 第38回インターナショナル ポッカ1000km[8/22(土)・23(日)]
- 第41回MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿[10/31(土)・11/1(日)]

#### F1日本グランプリレースのチケットを優先的にゲット!

シーズンシート(パノラマ、V席)をお申し込みいただいたお客様は 10月2日~4日開催のF1日本グランプリレースのチケットを優先的にご購入いただけます。



パノラマルームからの眺め  
※イラストはイメージです

鈴鹿、もてぎのチケット・グッズが同時に買えるオンラインショップ  
詳しくは <http://mls.mobilityland.co.jp/> にアクセス！

MOBILITY STATION

## チケットのお求めは

券種によってお取り扱いのない窓口もございます

■ 鈴鹿サーキットレースチケットセンター	4月7日(火)～6月6日(土)まで(販売時間 10:00～17:00)
■ 鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100(通販専用)	4月7日(火)～5月31日(日)まで(販売時間 10:00～16:00)
■ MOBILITY STATION (オンラインショッピングサイト) PC <a href="http://mls.mobilityland.co.jp/">http://mls.mobilityland.co.jp/</a> モバイル <a href="http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/">http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/</a>	4月7日(火)10:00～5月31日(日)24:00まで(24時間受付)

4月7日(火)～6月6日(土)(一部販売期間が異なる店舗がございます。)

- 電子チケットぴあ ● CNプレイガイド ● ローソンチケット ● イープラス
- セブン-イレブン ● ローソン ● ファミリーマート ● サークルK・サンクス ● am/pm

※コンビニには時間帯に制約があります。※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。

チケットに関するお問い合わせ：鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)